

令和3年度第2回男女共同参画推進懇談会 議題についての質問・意見及び回答

議題(1)たかまつ女性活躍促進事業の令和2年度実績及び令和3年度実施予定について

質問・意見	回答
<p>①資料1-2（令和3年度たかまつ女性活躍促進事業について）の「1事業内容」について</p> <p>令和元年度及び令和2年度には無かった「エ つながりサポート相談支援事業」①「つながりタイム」の実施、②生理用品の提供が加わった経緯は何か。</p> <p>また、「つながりタイム」の実施欄に記載されている「高松市男女共同参画センターで実施しているグループ相談事業」について、これまでどのようなことが相談されてきたのか</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>国において、令和2年度新型コロナウイルス感染症対策予備費等を活用し、NPO等を通じて取り組む、孤独・孤立対策への支援事業が、令和3年3月16日に示されました。（「非正規雇用労働者等に対する緊急支援策について」（緊急対策関係閣僚会議決定））</p> <p>これを受けて、本市では、新型コロナウイルスの感染拡大による望まない孤独・孤立で不安を抱える女性たちが、社会との絆・つながりを回復できるよう「つながりサポート相談支援事業」として、NPO等の知見を活用し、きめ細やかな支援を行っていくため、「つながりタイム」を実施するとともに、相談支援の一環として生理用品の提供を行うことといたしました。関係各課や学校、社会福祉協議会等関係機関とも協力し、いわゆる「生理の貧困」対策として、必要な方に生理用品の提供を行っております。これをきっかけとして、生活困窮や家庭における問題等のSOSの声を幅広くキャッチすることにより、必要な相談窓口に繋ぐなど、きめ細かい寄り添った支援につなげていきたいと存じます。</p> <p>「つながりタイム」における参加者の相談内容については、 「県外から転入してきて、知り合いがいない。コロナ禍の中、未就学児を育てていて、孤独を感じる。誰に相談していいかわからない」 「最近復職したが、家事育児すべてを一人で担っており、両立に悩んでいる」といった内容となっております。（令和3年8月実績）</p>
<p>②資料1-2（令和3年度たかまつ女性活躍促進事業について）女性活躍推進&働き方改革セミナーについて</p> <p>コロナ禍の影響で参加者が少ないのが惜しいと思う。参加者への案内、呼びかけの工夫がほしい。</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>令和2年度は、コロナの影響で、日中は外出を控えている企業等が多いことや今まで実施していなかった時間帯等を鑑み、夜間に対面で開催いたしましたが、夜間に参加できる企業が少なく、厳しい結果となりました。</p> <p>改善策として、令和3年度はオンラインでの開催といたします。また、今年度本市と事業連携を行っている第一生命株式会社にもセミナー周知について協力をいただくこととしております。</p>
<p>③資料1-2（令和3年度たかまつ女性活躍促進事業について）アドバイザー派遣、企業認定について</p> <p>アドバイザー派遣や企業認定については、成果を上げてきていると思うが、一層の拡充を図るために募集の工夫をしてほしい。</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>周知について、本市と委託事業者のほか、事業連携を行っている企業にも協力いただき、一層の周知に努めたいと存じます。</p>

議題(2)第4次たかまつ男女共同参画プランの令和2年度における進捗状況について

質問・意見	回答
<p>④資料2-2（第4次たかまつ男女共同参画プラン成果指標実績値及び実績値が低い理由等一覧表）「市男性職員の育児休業取得率」について</p> <p>Ⅱ男女が共に活躍する社会づくりの「市男性職員の育児休業取得率」は、令和元年度の実績値14.5%、令和2年度の実績値21.1%で、評価はいずれの年度も「A」となっており、問題はないのかもしれないが、共働き世帯が増加し、少子高齢化が進展する中、「市男性職員の育児休業取得率」をもう少し上昇させる環境づくりが必要ではないか。</p>	<p>人事課</p> <p>市男性職員の育児休業取得率については、令和元年度から令和2年度にかけて、高い上昇率となっており、また、本市の男性職員の育児休業取得率は全国の地方公共団体における平均値（8.0%（令和元年度））と比較しても、高い水準となっており、順調に推移していると言えます。</p> <p>上昇させるための取組といたしましては、子育て世代や管理職を対象に「お父さんの子育て応援研修」や「イクボス研修」を実施し、職員の意識啓発に努めております。</p> <p>また、次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画を策定し、職員の子育てを支援しており、市男性職員の育児休業取得率については、令和7年度に30%を目標として、今後とも取得促進を図って参ります。</p>
<p>⑤資料2-2「農業委員に占める女性の割合」、「市男性職員の育児休業取得率」</p> <p>農業委員に占める女性の割合「市男性職員の育児休業取得率」の目標値が令和2年より低いのは何故か？</p>	<p>農業委員会事務局、人事課</p> <p>令和2年度の実績値において、目標値を達成したためです。</p>
<p>⑥資料2-2「がん検診受診率」について</p> <p>がん検診の受診率が格段にアップした要因はあるか</p>	<p>健康づくり推進課</p> <p>現行プランの計画期間が令和2年度から令和3年度に延長されたことに伴い、令和3年度の目標値を新たに設定いたしました。その際に、健康づくり推進課から、がん検診受診率の算出方法について、他の計画等にあわせて変更したいとの申し出がありました。これまでの「がん検診受診率」の算出方法は、本市で行うがん検診のみを対象としていましたが、今後は、職域での検診も含め算出することといたしました。このことから、がん検診の受診率が大幅に増加しております。（資料にも、「職域での検診を含めたがん検診受診率とする」旨の記載をしております。）</p>
<p>⑦資料2-3（第4次たかまつ男女共同参画プラン事業実施状況等調査票）</p> <p>（事業番号1）LGBT出張講座について</p> <p>出張講座の出張先、コミュニティセンター以外にも行われているか</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>地域に出向いて啓発を行うという趣旨から、コミュニティセンターでの開催としております。なお、令和2年度は生涯学習センター（まなびCAN）からの依頼により、「元気な高松創生講座」の一環として、LGBT出張講座を行いました。</p>
<p>⑧（事業番号2）人権啓発リーフレットについて</p> <p>作成されたリーフレットでの男女の人権の扱われ方</p>	<p>人権啓発課</p> <p>男女平等の理念は、日本国憲法に明記されているものの、現実には、依然として、固定的な性別役割分担意識や男性中心の慣習などの性差別意識が残っており、このことが男女差別を生む原因となっています。</p> <p>このようなことから、さまざまな人権問題の一つとして、「女性の人権問題」を取り上げ、各種研修会等でリーフレットを配布し、女性の人権問題に関する啓発を行うとともに、専門の相談窓口を紹介するなど、人権意識の醸成に努めております。</p>

質問・意見	回答
⑨（事業番号7・19）男女平等意識の育成を意識した教育の推進について	学校教育課
男女平等教育推進にかかわる内容とは、具体的にどのようなものか	<p>各教科において男女平等教育推進の視点をもって指導しております。例としては以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会（公民）…法の下での平等、憲法、男女共同参画社会基本法、男女雇用機会均等法（女性の社会進出）等の学習 ○保健/保健体育…男女の身体の成長の違いとともに、男女が協力することの大切さ。 ○家庭科…家族が協力・協働し、よりよい家庭生活を営むこと ○道徳…家族への敬愛や感謝の心。 ○総合的な学習の時間 ・キャリア教育…職業選択時の男女雇用機会均等や女性の活躍等、性別にとらわれず多様な人生を選択できる社会を実現していく必要性。（主に中学校） ・人権学習…差別や偏見のない社会の実現をめざし、様々な人権課題をとりあげ、それらにどのように向き合い行動できるのかを学ぶ。
⑩（事業番号15・17）メディアリテラシーについて	男女共同参画・協働推進課
メディアリテラシーに関する講座研修とは具体的にどのようなものが実施されたのか。メディアリテラシーは男女共同参画を推進する上で重要な課題と考えている。	<p>男女共同参画・協働推進課では、メディアリテラシーに特化した講座等は行っておりませんが、男女共同参画週間事業や男女共同参画センターにおける「だれもがいきいきまちづくり講座」等、男女共同参画の視点に立った講座等の中で、男女共同参画の視点を広く周知・啓発していくことで、メディアリテラシーの向上を図ってまいります。</p> <p>また、次期プランの策定に伴い、メディアリテラシーに関する講座等も含め、講座の実施内容についても、男女共同参画センターと連携を図りながら、見直しを行っていきたく存じます。</p>
⑪（事業番号16）広報誌での周知啓発について	広聴広報課
広報誌6月と11月に、男女共同参画に関わる啓発記事を掲載とあるが、見当たらない。広報は市民に広く啓発できるツールであるので、男女共同参画担当でしっかりと記事をつくり掲載いただきたい。	<p>令和2年度から、広報たかまつの発行が月に1回となったことから、掲載できる紙面のスペースがかなり限られております。そのうえで、男女共同参画に関する記事については6月の男女共同参画週間、11月の市民フェスティバルの際に掲載しており、不定期で男女共同参画センターの紹介なども掲載しています。</p> <p>なお令和2年の男女共同参画週間については、事業が中止となったため、例年よりさらに限られたスペースでの掲載となっております。</p>
⑫（事業番号21）コミュニティセンターでの男女共同参画出前講座について	男女共同参画・協働推進課
出前講座の出講先と内容	<p>実施先と内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松島コミュニティセンター（R2/6/26） 「松島女性教室 あなたは老後をどのように暮らしますか」 ・太田南コミュニティセンター（R2/9/26） 「我が家で取り組もう！災害への備え」 ・十河コミュニティセンター（R2/12/19） 「我が家の防災ノート～生き残るために～」
⑬（事業番号24・26）保育関係者等に対する研修の実施について	こども保育教育課
「様々な研修会」の参加と共有とあるが、どのような研修が男女共同参画への意識改革につながったか	LGBTなどについて考える、人権教育・保育に関する研修において、性の多様性や性的少数者への理解を深め、人権感覚を磨いていく中で、男女平等を含む個人の潜在的差別意識の改革につながっている。

質問・意見	回答
<p>⑭ (事業番号44) 女性活躍企業認定 (表彰) について</p> <p>表彰時点で、女性活躍推進一般事業主行動計画を策定されていない石丸製麺 (株) が「瀬戸の都・高松が誇るビジネスアワード」女性活躍企業として推薦表彰された理由。また計画期間が満了している事業所や未策定 (経産省データベースにない) の表彰もみられ、注意が必要と思われる。</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>令和2年度女性活躍企業表彰の選定基準に照らし、石丸製麺(株)が最も得点が高かったことから、石丸製麺(株)を表彰推薦企業候補として懇談会に諮り、令和2年度第2回高松市男女共同参画推進懇談会において推薦が決定いたしました。</p> <p>また、表彰企業の選定要件として一般事業主行動計画の策定は必須ではありません。令和3年度からは、一部選定基準を見直し、一般事業主行動計画を策定している場合は加点点評価 (2点) することとしております。</p>
<p>⑮ (事業番号42) 家族経営協定について</p> <p>3件新規で、農業者への働きかけができています。累計があればと思った。</p>	<p>農林水産課</p> <p>令和2年度までの累計は68件となっております。</p>
<p>⑯ (事業番号46) ホームページへの認定企業の取組の掲載について</p> <p>市のホームページトップで「男女共同参画」のタブのありがたが大変分かりにくいので、表彰企業や市の取組を拝見しようとしても見つけにくいです。トップページの「市の取り組み」の中に「男女共同参画」があれば辿りやすいと思います。「男女共同参画社会基本法」で推進は地方自治体の責務となっており「市の取り組み」の中にあるのがふさわしいのではないかと考える。</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>ホームページを管理している広聴広報課に確認し、「市の取り組み」の中にも含めるよう調整しております。</p>
<p>⑰ (事業番号41(55)・52・54) 女性の就労支援について</p> <p>女性就労相談の枠内で、中長期の女性のキャリア形成の観点から、再就職や継続就労に役立つ少人数のセミナーを月1回実施している。コロナ禍においては中止もあった</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>御指摘の箇所について、取組を追記いたします。</p>
<p>⑱ (事業番号107) ひとり親家庭に対する給付金支給事業について</p> <p>教育訓練給付金とは自立支援教育訓練給付金のことか? 高等職業訓練促進給付金の利用者数は?</p>	<p>こども家庭課</p> <p>教育訓練給付金は、自立支援教育訓練給付金のことです。令和2年度の高等職業訓練促進給付金利用者数は、23人となっております。</p>
<p>⑲ (事業番号118) 女性問題、男女差別意識の払拭についての啓発活動について</p> <p>出前講座の出講先</p>	<p>男女共同参画・協働推進課</p> <p>出講先は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松島コミュニティセンター ・太田南コミュニティセンター ・十河コミュニティセンター
<p>⑳ (事業番号121・123) 異性に対する暴力防止についての教育・啓発について</p> <p>女性への暴力について、男女の特性役割指導だけではなく、「暴力は人権侵害」「暴力は犯罪につながる」「暴力は許されない」ことの指導が大切であると思います。</p>	<p>学校教育課</p> <p>男女混合名簿をはじめ学校生活のあらゆる場面において男女平等の精神にのっとり、互いの人権を尊重し、誰に対しても暴力は許されないという教育活動を推進しております。</p>

質問・意見	回答
㊦（事業番号159）防災訓練の実施について 震災対策訓練について、令和2年度事業計画には「他市の事例等を参考に、情報収集に努める」となっているが、令和2年度で震災対策訓練については廃止となったとある。今後どうなるのか。	危機管理課 震災対策訓練については、2年に1回実施している総合防災訓練と訓練内容が重複するため、事業の見直しにより、令和2年度で廃止となりました。今後は、総合防災訓練の中で、男女共同参画の視点を盛り込むこととし、女性の意見を踏まえた訓練内容とするよう努めていきたいと存じます。

◆その他の御意見

議題(1)

- ・再就職支援セミナー（オンライン）は、オンライン開催を工夫し、受講者からの満足度も高いようである。
- ・令和3年度事業について。セミナーに学生向けワークショップが計画されていて期待する。

議題(2)

- ・審議会等の女性委員の割合、地域コミュニティ協議会における正副会長のうち女性の割合、市防災会議における女性委員の割合等、ピンポイントで調べてもなかなか目標が達成できていない。いわんや、いろいろな場面での女性の参画は難しいのだろう。女性が活躍できるための条件整備が急がれる。
- ・市職員の女性管理職の割合、市男性職員の育休取得率など、A評価で、市の姿勢がうかがえる。ますます拡充し、一般企業へ広がることを期待する。
- ・（ジェンダーの視点に立った保育について）ジェンダーを理解し、人権尊重の保育を実践されていることは素晴らしいと思います。
- ・（人権教育教員研修会の開催について）感染症拡大防止の観点からオンライン実施されたのは良かったです。
- ・（キャリア教育について）男女共同参画の視点に基づく児童生徒へのキャリア教育を期待します。